2026 年 10 月 6 日

公益社団法人 日本地震学会

第 60 回記者懇談会のご案内

11 月 4 日（水）～11 月 6 日（金）に開催されます日本地震学会 2026 年度秋季大会におきまして、下記の日程で記者懇談会を開催いたします。

取材活動で大変お忙しいところ恐縮ですが、ご出席いただければ幸いです。なお、今回は現地対面開催のみとし、オンライン中継は行いません。

本懇談会に参加されます報道関係者の方は、当日会場にお越しください。なお、報道関係者・記者の方は、学会会場への入場には、事前登録が必要なことにご注意ください(下記参照)。

記

第60回　日本地震学会　記者懇談会

日時：2026年11月4日（水）17:45～18:45
開催方法：学会会場における対面開催（オンライン中継はありません）
開催場所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）（愛知県名古屋市中村区名駅 4-4-38）
C 会場：9 階 大会議室 901
なお、学会会場への入場には、報道関係者・記者の方は、事前登録（以下の URL を参照）が必要となります。事前登録の締め切りは 2026 年 10 年 30 日です。
https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/zisin2026/content/press
出席者：久家慶子（会長）、中東和夫（広報委員長）、
地震学会役員、広報委員、地震学会会員

１）地震学会の活動、2026年度の事業計画の紹介　（久家会長）

２）話題提供
横田 裕輔　さん （東京大学生産技術研究所 准教授）
講演題目
「南海トラフ巨大地震震源域を海底から観察する -海底地殻変動観測のこれまでとこれから-」
講演内容
2011 年東北沖地震以来、海溝型巨大地震のリスクを正しく理解するためには震源のできるだけ近くで、巨大地震の前から常時、日々の地殻変動を監視する能力が重視されるようになりました。GNSS と音を用いて海底で地殻変動観測を観測する技術を GNSS-A と呼び、海上保安庁は南海トラフから東北沖にかけて SGO-A と呼ばれる観測網を整備しています。この技術は海底の長期的な位置の変化をセンチメートル精度で直接検出できる唯一の技術であり、固着状態、ゆっくりすべりの理解に不可欠となっています。
本講演では、現在までの技術開発、これまでにわかった南海トラフの震源像についてご紹介します。さらに将来的にどのような技術によりどのような観測、理解が実現すると考えられるかについてもご紹介します。

３）質疑応答

連絡先・問い合わせ先　（公社）日本地震学会事務局
TEL: 048-782-9243、 e-mail:zisin@tokyo.email.ne.jp